

## 動き出した「サービス提供部門」の活動

シビルNPO連携プラットフォーム（CNCP）が設立されて7か月、NPO法人認証を受けてからでももう3ヶ月になります。

組織的に分けられた3つの部門のうちの「サービス提供部門」についても、3ヶ月ごとにその活動進捗状況をこの誌に報告することになっていますが、早くも2回目を搭載することになりました。具体的活動は次表のように活動支援、情報交流、広報・提言および教育・行事の4つの機能から成っており、それぞれについて初期段階で行おうとすることをそれぞれ2ずつ上げています。

活動支援	・NPO法人データベース化とその追加・変更、ならびにホームページ等にリンクしての必要情報の公表。 ・事業活動・組織運営に係る土木学会関連組織との連携
情報交流	・ホームページおよびフェースブック等による中間支援組織活動に関する情報公開。 ・土木学会および他の関連学会等を通じて国内外の関連情報を収集し公開・発信する。
広報・提言	・建設系NPO法人活動に関する政府の政策および制度等に関する調査と結果の発信 ・研究委員会を立ち上げ具体的な提案・提言を検討し、その活動と成果をPRし世論形成に寄与
教育・行事	・会員NPO法人独自の行事支援等 ・シンポジウム/研究発表会等の諸行事の定期開催

すでに始まっている活動としては、活動支援や情報交流の機能において

- ・会員のデータベース化とその活用方法の具体化
- ・ホームページの立ち上げ
- ・広報誌「CNCP 通信」の発行

などが軌道に乗っており、ホームページ等からアプローチできます。

また、広報・提言については、土木学会シビルNPO推進小委員会と連携して、とくに地方自治体のインフラメンテについてNPO法人等サードセクターの役割を調査研究し、その対応策について政府に提言したり、具体的に自治体での取り組みに当たり支援出来ることを検討したりするための準備会を立ち上げ、国交省や地方自治体との意見交換を始めました。いずれは、委員会として広く内外の識者も交えた組織に発展させたいと考えています。

いま一つの教育・行事については、事務局と連携をして先日教育研修プログラムを検討する準備会を立ち上げました。研修コース案としては、シビルNPO基礎講座、シビルNPO運営実務講座、市民活動コーディネーター養成講座や技術顧問派遣研修などが上がっています。対象が、正会員・賛助会員や学生、さらには自治体関係者なども含む一般の方々、そして講師はシビル部門だけでなく社会・経済やソーシャル・キャピタル（社会関係資本）といった他分野の方々と、まさに組み合わせが3次元の様相を呈しますが、限られた方程式数の中で未知数も絞り込んでというのが、当面の課題です。今年中のアンケート調査を経て、来年からはこれも委員会活動の具体的な展開を目指しています。